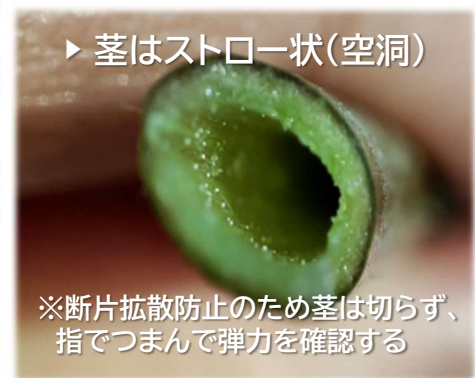
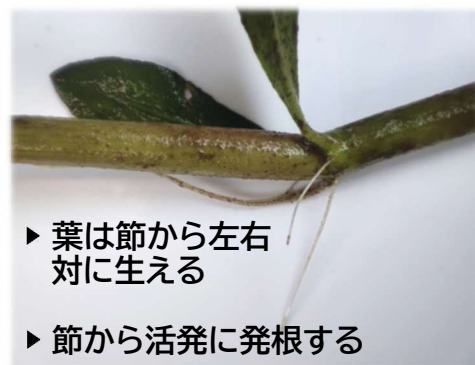
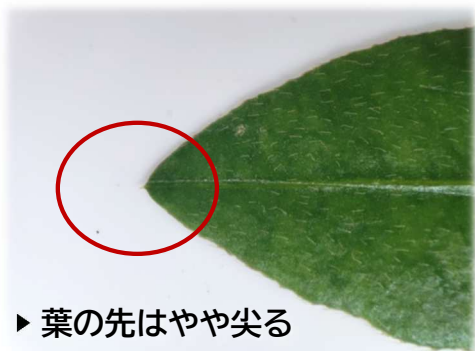


侵入させない！蔓延させない！

特定外来
生物

ナガエツルノゲイトウ

！非常に強い繁殖力・再生力、乾燥にも強い！



定着すると駆除が困難になります！早期発見・早期駆除が重要です

注意！

ナガエツルノゲイトウは特定外来生物に指定されています。
放出、栽培、保管、運搬、譲渡、輸入などが禁止されています。

ポイント

疑わしい植物を発見したら、連絡をお願いします

- ☑ ほ場周辺を見回り、水田・畑等への侵入がないか確認する
チェック場所 → 水田周辺、畦畔、農業機械等の進入路、用排水路

- ☑ 疑わしい植物を発見した場合は、下記にご連絡ください

【農地の場合】

岡山県病害虫防除所 (086-955-0543)

岡山県農林水産総合センター農業研究所作物・経営研究室 (086-955-0275)

またはお近くの農業普及指導センター

農業普及指導センター
リンク二次元コード

【農地以外の場合】

発生場所の市町村、または岡山県自然環境課 (086-226-7309)

ナガエツルノゲイトウが水田に侵入した場合

ポイント

水田(水稻栽培期間中)の対策

☑ ナガエツルノゲイトウに効果がある除草剤を使用する

体系処理の考え方

▶ 初期剤、初中期一発剤は、ピラクロニルを含む除草剤、中・後期剤はフロルピラウキシフェンベンジルを含む除草剤が有効です。

移 植 水 稲	ナガエツルノゲイトウ生育状況		5 月	6 月	7 月
	再 生 始 期	初 期 剤	ピラクロン1キロ粒剤 (移植時～移植後30日まで、ナガエツルノゲイトウ草丈2cm以下まで) バッチリLX1キロ粒剤 (移植時～移植後30日まで、ナガエツルノゲイトウ草丈5cm未満まで)		いずれかを選択
		初 中 期 一 発 剤			
生 育 期	生 育 期	中・後 期 剤	初期剤または初中期一発剤との体系処理で使用する。ナガエツルノゲイトウの生育状況に合わせて選択する。 ウィードコア1キロ粒剤 (移植後7日～収穫60日前まで、ナガエツルノゲイトウ草丈5cmまで) ロイアント乳剤 (移植後20日～収穫45日前まで、ナガエツルノゲイトウ草丈35cmまで)		

参考：農研機構「水田におけるナガエツルノゲイトウ防除マニュアル」2025年5月

注意！ 除草剤の使用にあたっては、ラベル記載事項を遵守してください。

ポイント

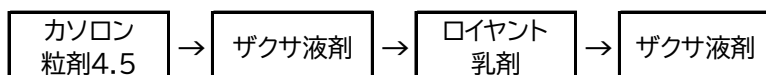
水田畦畔の対策

☑ 機械で除草せず、除草剤を使用する

▶ 断片(茎、根)で増殖するため、刈払機等は使用せず、非選択性除草剤(ラウンドアップマックスロード等)で対応します。

▶ 畦畔崩落が心配な場合は、土壌処理剤(カソロン粒剤4.5等)を組み合わせます。

◎ 畦畔崩落が心配される場合の対応例



☑ 防草シートで覆う

発生場所に防草シートを二重張りし、3年間以上、完全遮光します(現地実証中)。



ポイント

水田刈跡の対策 (秋)

☑ 水稻収穫後すぐに耕うんせず、降霜より前に非選択性除草剤を散布し、散布後1か月を目安に耕うんする

水 田 刈 跡	11 月	12 月
	ラウンドアップマックスロード	耕うん

翌年の発生源となる地下部の量を減らすため、ナガエツルノゲイトウが稲わらから見えるくらい生育させ、降霜より前にラウンドアップマックスロード等を散布し、効果が現れる散布後1か月を目安に耕うんします。

ポイント

水田(作付前)の対策 (春)

☑ 水田への侵入、水田からの流出を防止する

取水口にネットや網を取り付け、水路からの断片の侵入を防止します。発生田では、田植前、落水時に落水口にザル等を置き、断片の流出を防ぎます(集積した断片の処理は、市町村にお問い合わせください)。